

【適性検査Ⅰ】

課題 1

- (1) 平年
- (2) (ウ), (カ)
- (3) 97 回

説明

1から2000のうち, 4の倍数は $2000 \div 4 = 500$
1から1600のうち, 4の倍数は $1600 \div 4 = 400$
よって, 1601から2000のうち, 4の倍数は $500 - 400 = 100$ (個)
1から2000のうち, 100の倍数は $2000 \div 100 = 20$
1から1600のうち, 100の倍数は $1600 \div 100 = 16$
よって, 1601から2000のうち, 100の倍数は $20 - 16 = 4$ (個)
1から2000のうち, 2000の倍数は 1
1から1600のうち, 2000の倍数は 0
よって, 1601から2000のうち, 2000の倍数は $1 - 0 = 1$ (個)
したがって, 西暦1601年から西暦2000年の400年のうち, うるう年は
 $100 - 4 + 1 = 97$ (回)

- (4) 5時間49分

説明

(3) より西暦1601年から西暦2000年の400年のうち, うるう年は97回
あるので, 地球が太陽の周りを1周するのにかかる時間は,
 $(365 \times 400 + 97) \div 400$ (日)
と考えられる。

すなわち, $365 + \frac{97}{400}$ (日)

$\frac{97}{400}$ 日は, $24 \times \frac{97}{400} = 5 + \frac{41}{50}$ (時間)

$\frac{41}{50}$ 時間は, $60 \times \frac{41}{50} = 49 + \frac{1}{5}$ (分)

したがって, 地球が太陽の周りを1周するのにかかる時間は,
365日と5時間49分

課題 2

- (1) 3
- (2) 30°

説明

正三角形の底辺の真ん中の点と頂点を結んでできる直線を折り目にして
正三角形を折るとぴったり重なるので、 $\textcircled{ア}$ と $\textcircled{イ}$ は合同である。したがって、
 $\textcircled{イ}$ の角は、正三角形の1つの角 60° の半分である。

- (3) 8 cm

(4) 説明

- ① さしがねを使って、辺OA, OB上にそれぞれ点C, Dを $OC=OD$ となるようにとる。
- ② さしがねを使って、点Cを通り、OCに垂直に交わる直線をひく。
同様に、点Dを通り、ODに垂直に交わる直線をひく。
- ③ ②でひいた2本の直線の交点をEとすると、直角三角形OCEと直角三角形ODEが合同となり、直線OEが角Oを2等分する直線となる。

課題 3

- (1) 雲の中の空気の温度とまわりの空気の温度が等しくなり、それ以上、上へ成長できなくなるから。
- (2) 温かいお湯から湯気が立ちのぼること。
熱気球が上昇すること。
たき火のけむりが立ちのぼること。 など
- (3) 太陽の光が差しこまなくもりの日の同じ時間に、観察小屋の中でこのわたり鳥がどの方角を向くかを観察する。
- (4) 方角 南西
理由 太陽の光の差しこむ向きが鏡によって左に 90° ずれているので、このわたり鳥が向く方角は北西から左に 90° ずれた南西になる。

【適性検査Ⅱ】

課題 1

- (1) それぞれ異なっている (様子)。
- (2) 「水たまり」と「池」と「湖」と「海」の違いが認識 (できないこと。) (24 字)
- (3) マラソンという言葉のイメージする範囲はその人の経験や知識の量などによって左右されるから。(45 字)
- (4) 言葉：参観日
説明：親に来てもらってうれしい人もいれば、はずかしがりやで親に見られていやだという人もいる。(43 字)
- (5) ある言葉がイメージする範囲やイメージがプラスかマイナスかは人それぞれ異なり、自分の主観と感覚で向き合うため、伝えたい内容とは違う形で伝わるかもしれないから。(78 字)

※本文の出典は『小中学生のための世界一わかりやすいメディアリテラシー』

(後藤武士 宝島社)

課題 2

提示された状況を理解し、誰にどのような言葉を伝えたいかを書き、選んだ言葉について、その言葉を選んだ理由を筋道を立てて 200 字以内で書いているものを評価する。

課題 3

- (1) **A** 火災で亡くなった人が多い
B 地震が起こった時間が昼食時間と重なったため、多くの人がその準備のため、火を使っていたから
C 建物の倒壊で亡くなった人が多い
D 地震が起こった時間が早朝だったため、多くの人がまだ寝ていて、建物の下じきになったから
- (2) 三陸海岸はリアス海岸で、湾の両岸が奥に行くほど狭くなっているため、湾の奥に波が集まっていくから。

- (3) **【防災対策についての意識の変化】**

東日本大震災の前と後では、

「公助」に重点を置くと考える人の割合が減り、「共助」や「自助」に重点を置くと考える人の割合が増えた。

【あなたの考える「自助」による防災対策】

*家具などが倒れないように、固定（補強）しておく。

*市町村が発行しているハザードマップで危険な場所を確認しておく。

*災害が起こった時にどうするかを家族で話し合い、連絡手段を確認しておく。

*非常用持ち出し袋にひなんに必要なものを入れて準備しておく。

など